

目標達成計画

作成日：平成 25 年 2 月 10 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	<チームで作る介護計画とモニタリング> 職員同士の話し合いが不十分なまま、限られた職員で計画作成されている為、全体に浸透しないままサービス提供されている。	チームでの計画作成ができ、全員が個々に 対し同じ目標でサービス提供ができる	日程を決めて定期的にケア担当者会議を実施する。会議内容は回覧を通して全員に伝わる様にする。	3ヶ月
2	6	<身体拘束をしないケアの実践> 事業所の目の前が道路であり、開設当初は帰宅願望の強い方が多かった為、安全確保の上で玄関の施錠をしていた。現在では落ち着いてはきているが、常時開放には不安がある。	施錠しないで日常生活が送れることを目標に、差し当たり風除室だけは開放する。	外に出たがる方の心理状況や行動パターンの把握に努め、得意とする作業や趣味等を取り入れ、その方に合った1日の流れを見直す。そうすることにより、充実した1日を送れることで帰宅願望の軽減につなげる。	3ヶ月
3	40	<食事を楽しむことのできる支援> 食堂のテーブルが縦一列ということもあり、利用者と職員が一緒にテーブルで食事を摂ることができない。	全員一緒に楽しく食事ができる。	狭くはなるが、利用者の中に職員も全員入り、声を掛けながら、楽しみながら食事を摂る。また、食事の準備や後片付け等も役割を決めて、職員と一緒に楽しみながらできる様にする。	3ヶ月
4	49	<日常的な外出支援> 地域資源を生かした外出支援が少ない。	①全員での外食を楽しむ。 ②老人会や町内会の催し物への参加ができる。	①日程を決めて、シフトの調整、業務の見直しを行う。 ②運営推進会議を通して、町内会や老人会の催事の計画を伺い、参加の依頼をするとともに、内容に合わせて日程を決め、参加者等の調整をする。	6ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。